社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和07年03月13日

計画の名称	宮崎南部・霧島地域における広域的周辺観光活性化計画(重点①)		
計画の期間	令和０６年度　～　令和０９年度　(4年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	宮崎県		
計画の目標	宮崎南部・霧島地域においては，自然景観を活かした観光地を有する地域が点在しており，宮崎空港や鹿児島空港の空ルート，宮崎港，油津港，志布志港の海ルートを経て，鉄道や高速道路等の幹線道路を利用した観光周遊ルートが形成されており，県内外から多くの観光客が訪れている。 東九州自動車道，地域高規格道路である都城志布志道路が近年，段階的に開通し，既存交通網と連携強化を図ることで，当該地域への更なる観光客増加が期待され，地域固有の自然環境，歴史，文化・食など各地域の特徴を活かした滞在型観光にも力を入れているところである。 ユネスコパークに登録されている「綾地域」や国宝指定された霧島神宮などを有する「霧島地域」など，雄大な自然景観，温泉，登山，歴史散策やサイクルツーリズムといった滞在型観光の魅力を関係自治体や地元観光協会等と連携して情報発信し，ソフト・ハード両面の取り組みの実施により観光客数の増加を図り，宮崎・鹿児島両県で，これらの地域へのルート上の基盤整備を行うことでアクセス性を向上させ，広域観光活性化を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,540	A	3,540	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R1）	（R7）	（R9）
1	【宮崎県・鹿児島県 共通目標】 宮崎県南部地域、鹿児島県霧島地域の観光宿泊客数342万人（R1）から359万人（R9）に増加 （17万人（5%）の増加）			
	【宮崎県・鹿児島県 共通目標】観光入込客数 （観光宿泊客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光宿泊客数 － R1の年間観光宿泊客数）／（R1の年間観光宿泊客数）	342万人	352万人	359万人
2	【宮崎県　単独目標】　宮崎県南部地域の観光入込客数1,009万人（R1）から1,060万人（R9）に増加　　（51万人（5%）の増加）			
	【宮崎県 単独目標】観光入込客数（宮崎県南部地域：宮崎市、串間市、小林市、えびの市、綾町） （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － R1の年間観光入込客数）／（R1の年間観光入込客数）	1009万人	1039万人	1060万人
3	【宮崎県　単独目標】　拠点施設（すきむらんど、綾手づくりほんものセンター）間の平均移動時間を約2%短縮			
	【宮崎県　単独目標】平均アクセス時間（延長/評価時点の旅行速度＊交通量）の短縮率　※A11-001、002が対象 （平均アクセス時間の短縮割合）＝（評価時点の平均アクセス時間－R1の平均アクセス時間）／（R1の平均アクセス時間）	0%	0%	2%
4	【宮崎県　重点目標】　宮崎県青島地区の観光入込客数376千人（R1）から394千人（R9）に増加　　（18千人（5%）の増加）			
	【宮崎県 重点目標】観光入込客数（宮崎県宮崎市青島地区） （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － R1の年間観光入込客数）／（R1の年間観光入込客数）	376万人	0万人	394万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0.5%となる。　○観光入込客数の当初現況値は新型コロナウィルス流行前の値とする。○その他事項については（参考様式２）整備計画関連事項に記載。　○定量的指標３・４の中間目標値は、開通等の整備効果がないため設定しない。

案件番号：　0000643311

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R06	R07	R08	R09	R10	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域活性化事業	A11-001	公園	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都市公園	施設整備	（都）宮崎県総合運動公園	公園施設改修　N=7箇所	宮崎市	■	■	■	■		3,540	1.31	―
		R5年度より「宮崎南部・霧島地域における広域的周辺観光活性化計画」で事業実施。R6年度より重点計画へ移行。R7年度より通常計画に変更。																	
											小計						3,540		
											合計						3,540		

案件番号： 0000643311

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R6				
配分額（a）	559				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	559				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	290				
翌年度繰越額（f）	269				
うち未契約繰越額（g）	14				
不用額（h=c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i=（g+h）/（c+d））%	3%				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 宮崎南部・霧島地域における広域的周辺観光活性化計画(重点①)

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等　１）基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等　２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係　１）広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I.　目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係　２）広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　４）拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　５）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性　１）拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性　２）拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　１）民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　２）事業実施のための環境整備が図られている。	○

案件番号：0000643311